

平成29年度 年度計画の主な内容

公立大学法人名古屋市立大学

教育

- (1) 教養教育において、初年次教育科目を引き続き開講するとともに、成果の検証（評価）を実施〔2〕
- (2) 「語学センター」において、平成30年度からの新語学カリキュラムについて引き続き準備〔5〕
- (3) （看護学部）モデル構築が完了した「名市大看護実践教育モデル」の検討委員会を「名古屋市立大学看護実践教育共同センター」と改名し、医学部附属病院との連携を強化〔17〕
- (4) （医学研究科）芸術工学研究科と連携した修士課程臨床医療デザイン学分野に学生の受入を開始〔19〕
- (5) （人間文化研究科）「臨床心理コース」（博士前期課程）を設置し、医学研究科、医学部附属病院、看護学部及び人間文化研究科が連携して開設する「医療心理センター」で、医療系の充実した実習を実施〔20〕
- (6) （薬学研究科）共同ナノメディシン科学専攻（博士後期課程）での社会人学生の履修に配慮した教育課程の見直しを実施〔21〕
- (7) （看護学研究科）新規準（38単位）による「クリティカルケア看護専門看護師教育コース」（博士前期課程）の教育を開始〔32〕
- (8) 理学系新学部の設置に係る広報を行い、学生募集を実施するとともに、学生の受け入れ体制を準備〔38〕
- (9) 部局、専門を超えて学び合う全学FD活動の場として教育改革フォーラムを、引き続き開催〔42〕
- (10) 多様な学生からのニーズや学生との検討事項を基に、引き続き学生生活における施設等の充実や障がいのある学生に対する支援の強化を実施〔45〕

研究

- (1) 全学的な研究推進機関で決定した方針に基づき、URA オフィスを中心に、学内外・国内外との横断的・学際的な研究グループを構築するなど、大学の特性を活かしたプロジェクト研究を推進〔48〕
- (2) （医学研究科）（薬学研究科）医学、薬学の枠を越えた共同研究等を進めることのできる仕組み、体制について検討〔52〕
- (3) 科学研究費助成事業について、未申請の教員の比率の低減に取り組むとともに、申請書のピア・レビュー（学内査読）等の支援を実施〔59〕

社会貢献等・大学の国際化

- (1) 特別研究奨励費制度を活用するなど行政課題に関する研究を促進するとともに、研究内容を紹介した冊子（研究シーズ集）やウェブサイトにおいて積極的に情報を発信〔65〕
- (2) 高校生が、大学の研究室で専門分野に関する実験などを体験する「大学まるごと研究室体験」や、大学の授業を大学生とともに受講できる「高大連携授業」を、引き続き実施〔67〕
- (3) さらなる海外協定校の拡充や現協定校との交流の充実を図るとともに、新たな海外拠点設置への取り組みを実施〔69〕

附属病院

- (1) 中央検査部門の超音波検査体制の充実を図り、検査実施数を増加〔72〕
- (2) 「内視鏡医療センター」の拡張にかかる工事を実施〔75〕
- (3) 経営マネジメントを推進するため、病院機能評価の更新認定を取得〔89〕

業務運営等

- (1) 施設費や実習関連経費について、受益者負担の観点に立った自己負担化を引き続き検討〔101〕
- (2) 部局間の施設共同利用、施設の貸出し等の利用を引き続き促進〔106〕
- (3) 桜山キャンパス医学部「実験動物研究教育センター」における自動火災報知設備・非常放送設備更新及び滝子キャンパス 4 号館における屋上防水改修応急保全工事を実施〔111〕
- (4) 将来リーダーとなる女性を育成し、女性教職員の上位職階への登用を図るため、女性活躍推進法に基づく行動計画を実施〔119〕
- (5) 平成 30 年度以降 6 年間を対象とした次期内部監査中期計画(平成 30 年 6 月策定予定)の策定方針を決定〔122〕

平成 29 年度

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	7,331
自己収入	31,280
授業料及び入学金検定料収入	2,651
附属病院収入	27,599
雑収入	1,030
施設整備費補助金	64
長期借入金収入	449
受託研究収入等	2,800
目的積立金取崩等	206
計	42,130
支出	
業務費	38,089
教育研究経費	2,222
診療経費	17,075
人件費	18,792
一般管理費	497
施設整備費	724
長期借入金償還金	20
受託研究費等	2,800
計	42,130